

リテール・サポートおよび連携モデル事業

【事業の目的】

昨今の卸売業界は厳しい構造変革に見舞われ、経営不振に陥りつつある卸売業が少なくありません。また、小売業も地域の中小規模の事業所を中心に、事業所が大幅に減少しています。しかし、高齢化が進む地域では、地域小売業はそこで暮らす人々にとって、生活に欠かせない重要な役割を担っています。地域小売業の存続のためには、取引先である卸売業との連携による効率化や活性化が大きな役割を果たします。このリテール・サポート事業では、卸売業従業員のリテール・サポート能力向上、卸売業と小売業の連携による事業革新・地域活性化の推進を具体的に進めることを目的としています。

リテール・サポートとは？ 卸売業が小売業に対して行う経営支援で、売場作りや品揃えのアドバイスなどもしています。

【事業の内容】

リテール・サポート事業は、「Ⅰ. 研修事業」と「Ⅱ. 卸売業・小売業連携モデル事業」の2つの事業があります。

Ⅰ. 卸売業・VC（ボランタリーチェーン）向け研修事業

卸売業と小売業の連携事例の情報提供を行うセミナーと、リテール・サポート教育プログラムによる研修の2つの事業を実施。商店街や地域小売業への支援に力を注ぐ卸売事業者の前向きな取り組みを支援しました。

1. 卸・小売連携セミナー事業

卸売業と小売業の連携による事業革新・地域活性化を進めるための情報を提供・共有するセミナーを、東京と大阪の2会場にて実施しました。

「日本卸売協会フォーラム 2009」

■東京会場 平成21年11月30日 参加人数：558名（申込数：825名）

■大阪会場 平成21年12月7日 参加人数：318名（申込数：443名）

2. リテール・サポート研修事業

卸売業やボランタリーチェーンの従業員等を対象に、リテール・サポート能力の向上を促進するためのリテール・サポート初級研修を実施しました。

開催規模：全国38カ所で開催。合計受講者数1,095名

ボランタリーチェーンとは？ 複数の小売店が独立性を保ちながら、共同で仕入れ・宣伝・配送などを行うための組織です。

II. 地域卸売業との連携、ボランタリーチェーンの活用による地域商業活性化の促進事業

地域における商店街・個店活性化のための連携事業について先行調査をしました。また、モデルになる事例の開発を行い、その情報を多くの事業者に知っていただくために、さまざまな方法で発信していく事業を行いました。

1. 先行事例調査

■目的

卸売事業者と地域小売業が連携することにより、付加価値を作り、事業革新や地域活性化等に成功している先行事例を複数調査しました。その取組みの内容と背景や、なぜ成功したのかを明らかにすることで、事業による効果の裏づけと、情報の提供を目的としています。

■方法と対象

ヒアリング調査により実施しました。5つの領域ごとに事例を整理し、その特徴や成功要因等を取りまとめました。

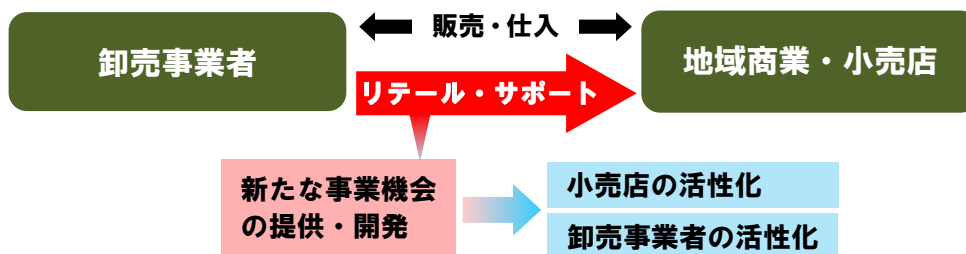
■実績

調査対象の選定にあたり、業界団体および専門家で構成された委員会を開催。中小企業庁調査や委員の推薦等により16件を対象として抽出、調査を実施しました。この調査結果は、卸売事業者にとっては自社業績向上の方法を検討する材料として、また、小売事業者にとっては自社発展のための卸売業の活用を検討する材料として利用されています。

2. 卸・小売連携モデル事業

■目的

卸売業・小売業連携によるビジネスの発掘を行うことを目的として、卸売業・小売業連携モデル事例を開発するプロジェクトを実施しました。この事業では、プロジェクト終了後も、関係者が自立して事業を進めていけることも目的としています。



成果の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://www.jwa-net.or.jp/research/report/index.html>

